

飛驒地方における生活実態調査（第1報）

婚姻について

荻野千鶴子・加藤恵子・山田順子

An investigation on Life in the Hida District (Part 1)

On the Marriage

by

C. OGINO, K. KATO and J. YAMADA

緒 論

名古屋女子大学生生活科学研究所が実施している飛驒川流域資源調査の一環として、1967年より筆者らは生活実態調査を行なった。

本調査は大野郡、益田郡、加茂郡の中から飛驒川およびこの支流に属する白川、馬瀬川、益田川の流域、およびこれに对照する意味で宮峠をこえた古川町、そして奥飛驒の秘境として人びとに親しまれている白川村を選び、風俗習慣の最も基礎的な要因と考えられる結婚の要素、および結婚衣裳などの実態を調査し、その特徴を把握しようとしたものである。

結婚は、結婚する者同志および両家の話し合いにより進められるべきであるにもかかわらず、その位置する地域社会のしきたりに左右されて行なわれていることが多い。本人の合意によって成立する現代においても、いまなお家と家の結婚の形態が多くみられる。そこで結婚の時代別による男女の学歴、結婚年令、挙式の場所および結婚衣裳とその調整方法などに加えて地域に残存する風習などについて知り得たので、ここに報告する。

調 査 方 法

1 調査地域（第1図）

大野郡……白川村、久久野町、朝日村、高根村

益田郡……小坂町、萩原町、下呂町、馬瀬村

加茂郡……七宗村、白川町、東白川村

以上と对照の意味にて、吉城郡は古川町のみ行なった。

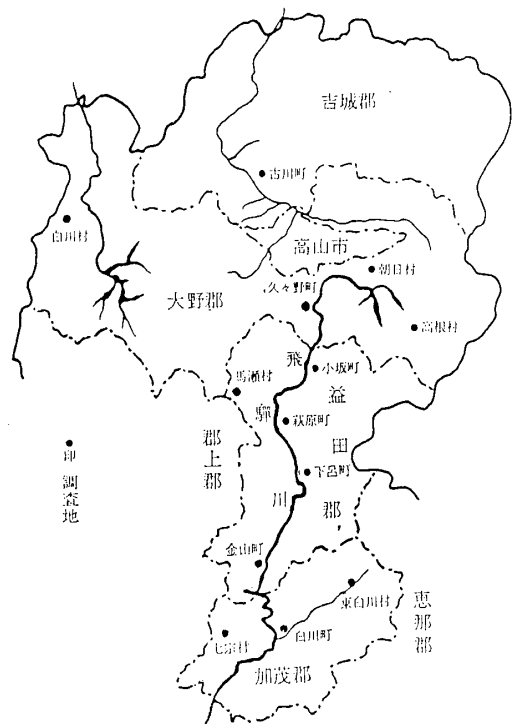
2 調査時期

イ アンケート調査……昭和43年7月～同年11月

ロ ききとり調査……昭和43年5月～昭和44年3月

3 調査方法

アンケート調査は、調査町村の教育委員会に



第1図 調査地域

お願いして、調査用紙 100 枚ずつをそれぞれの家庭に配布し、回収していただいた。回収率は 65.3%であった。また一方これらの地方を訪ずれ、古老その他の一般家庭を訪問してききとり調査を行なった。

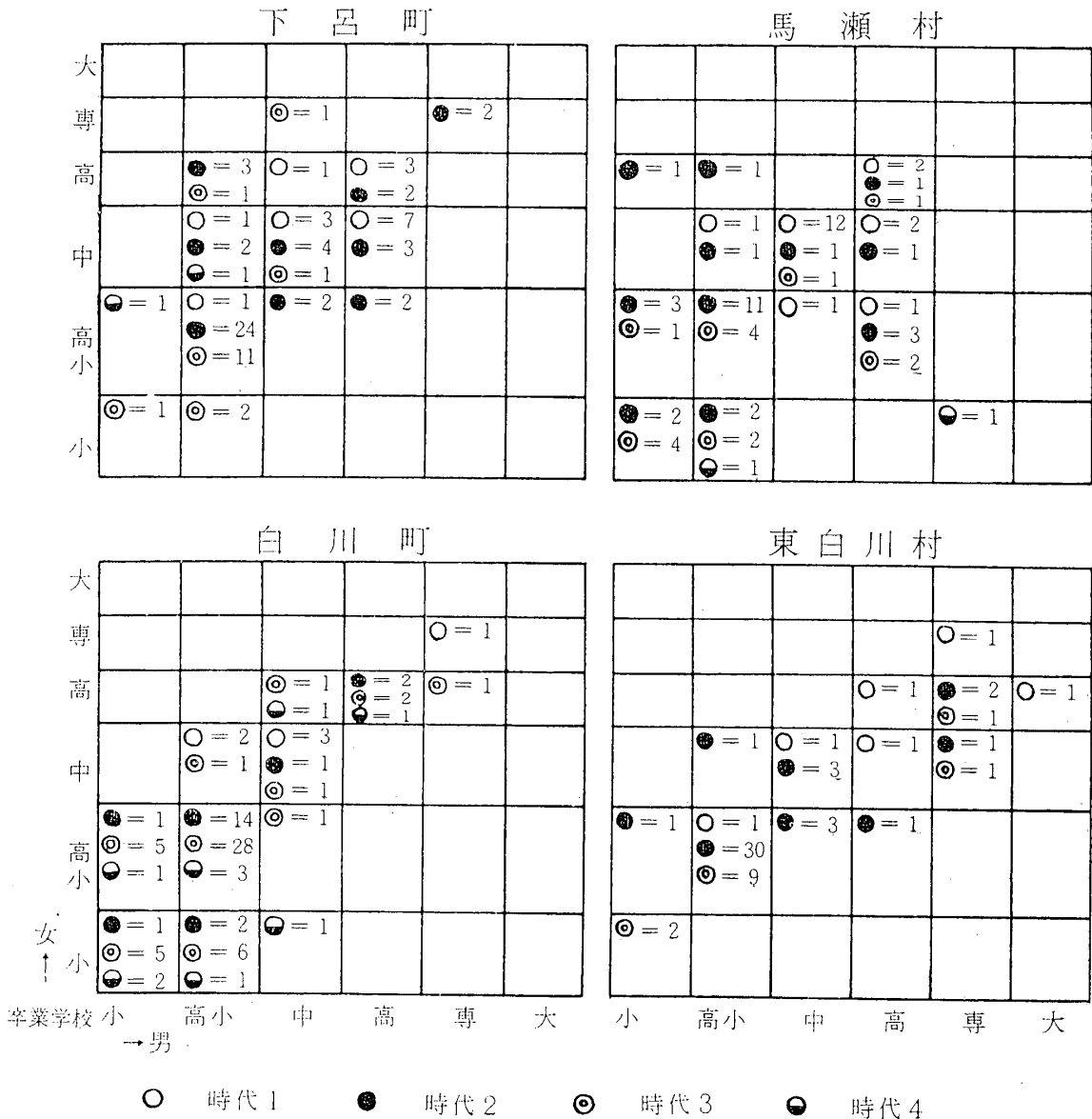
結果および考察

アンケートによる調査結果は、これを回答者の結婚時期により、1. 昭和30年～昭和43年まで、2. 昭和21年～昭和29年まで、3. 昭和初期～昭和20年まで、4. 大正および明治時代の4分類にわけ集計を行なった。

1 職業

全地域を通じて農林業が平均55.1%で最も多く、中でも馬瀬村は77.9%、高根村は71.4%という高率を示している。つぎに多いのが公務員の13.9%、会社員(工員を含む) 6.7%であるが、その他は非常に少ない。しかし農林業のうち、農業のみで生計をささえるのが困難であるために、兼業として他へ働きに出ている家が多い。

2 夫婦の学歴(第2図)



古川町

大				○=1		
専					○=1 ●=1	
高		◎=1	○=2 ◎=1	○=14	○=1	●=1
中		○=1 ●=2	○=9 ●=1 ◎=1	○=3	●=1	●=1
高小	●=1	○=2 ●=10 ◎=6	●=2	●=2 ◎=1	◎=1	
小	◎=2	●=1 ◎=2				

白川町

			○=1			
		◎=2	○=3	○=1	○=1	
		○=4 ●=1	○=4 ●=1	○=2		
	●=1	○=3 ◎=1	●=10 ◎=5	●=2 ◎=1		
	●=1	●=1 ◎=2		◎=1		

久々野町

大						
専						
高		○=1 ◎=1	○=1 ●=1 ◎=1	○=2 ●=3	●=2	
中		●=2 ◎=2	○=2 ◎=1 ◎=2	○=2		
高小		●=8 ◎=13 ●=2	◎=2	◎=3		●=1
小	◎=3 ●=11	◎=4 ●=5				

朝日町

				○=1		
			○=1	○=2		○=1
		○=3 ●=1 ◎=1	○=8 ●=3	○=6		
		○=1 ●=15 ◎=8	◎=2 ◎=1	●=3		
	●=2 ◎=2	●=1				

小坂町

大						
専						
高		●=1	○=2	○=4		◎=1
中			○=2 ●=2 ◎=1	○=3	●=1	
高小	◎=1 ●=2	○=2 ●=7 ◎=9 ●=2	●=2	●=1 ◎=1	◎=1	◎=1
小	◎=7 ●=7	●=1 ◎=2 ●=3				

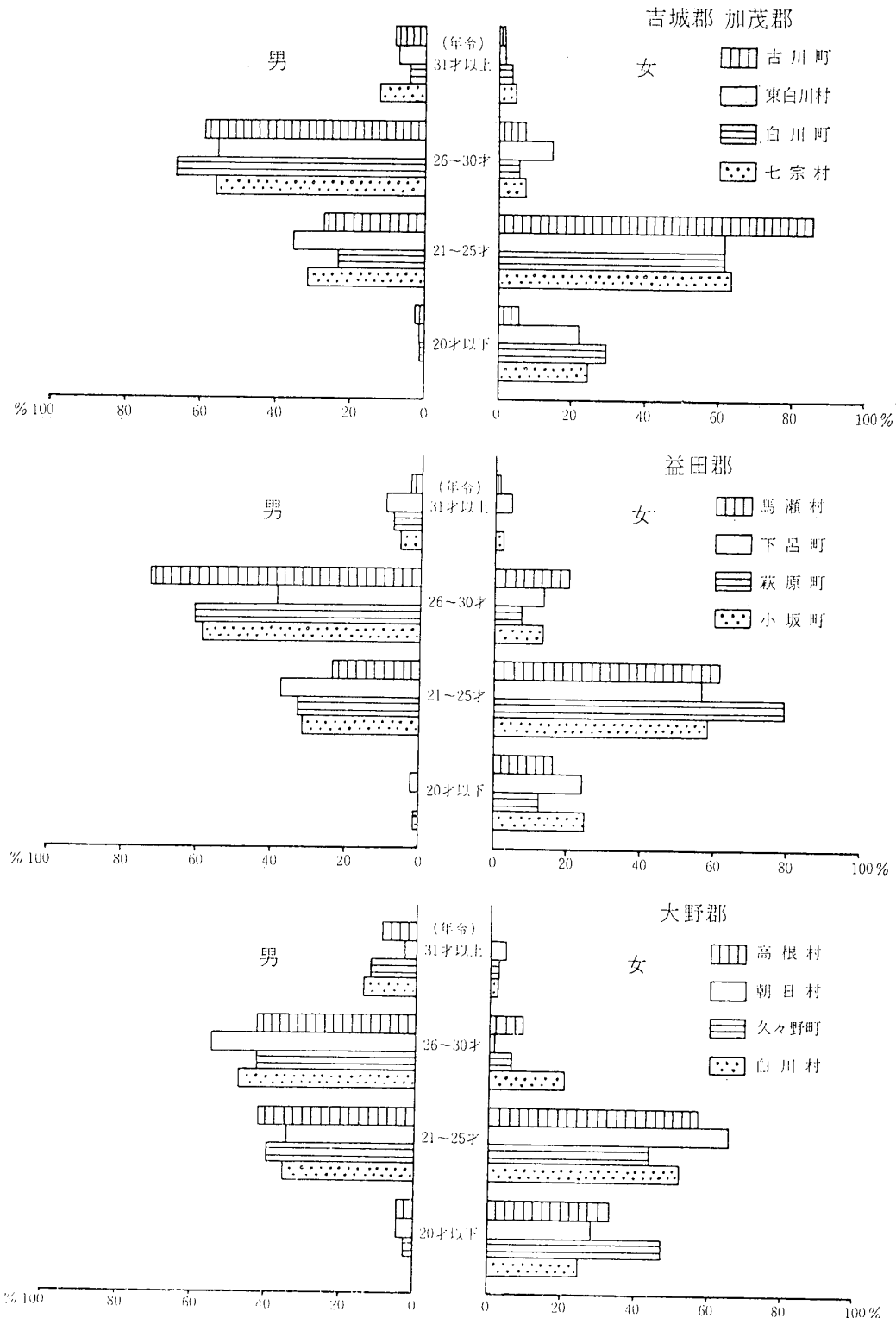
萩原町

		○=2	○=1	○=9 ●=1		○=4 ●=2
	○=1	○=5	○=16 ●=3	○=9 ●=1	○=1 ●=1	
		○=2 ●=11 ◎=3				

女
↑
卒業学校→男

第2図 夫婦の学歴

夫婦の学歴は何れの地域も戦前までは、夫婦とも高小卒という組み合わせが群を抜いて多い。しかし久久野町、小坂町、白川町は小学校卒の組み合わせが多い。下呂町は高校卒が多く、萩原町は高校、大学卒がわずかに多いが、これらは高山線の沿線に沿い、しかも官公庁が集まり、また近くに高校があり町づくられている点からもうなずけるところである。男子の場合をみると小学校及び中学校卒業といういわゆる義務教育のみのものは、馬瀬村が約40%



第3図 男女の結婚年齢

で最も多い。東白川村では約15%であるが、これに高小卒を加えれば81%という高率になる。

3 男女の結婚年齢（第3図）

男女の結婚年齢を20才以下、21才～25才、26才～30才、31才以上の4段階に分け、これを郡別に集計した。

男子の場合全地域にわたり、26才～30才が最も多い。これは矢作川下流地域と同傾向である。つぎに多いのは21才～25才である。しかし大野郡においては、朝日村をのぞき、21才～30才がほぼ同数をしめ、20才以下は他の町村に比べるとその数は多くなっている。26才～30才までの最も多いのは萩原町の約72%であり、少ない所でも下呂町の39%である。

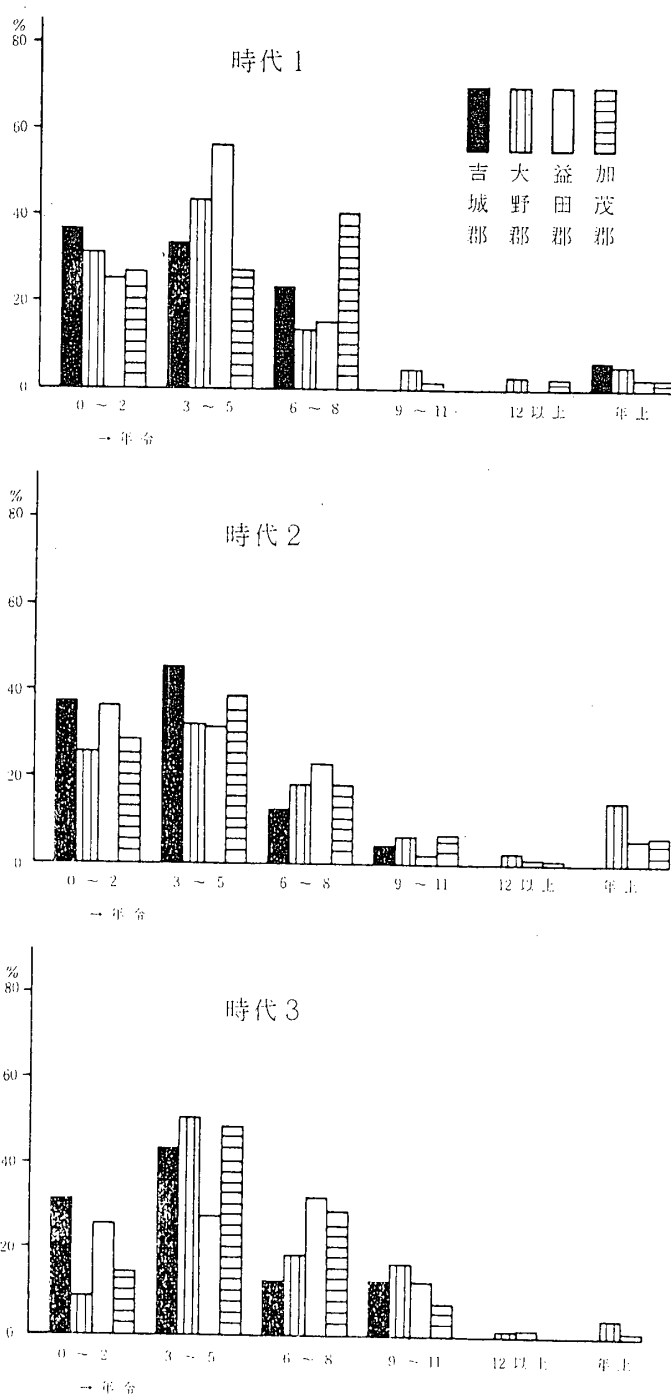
女子は男子よりも1段階若く21才～25才が最高をしめ、ついで20才以下である。女子の場合も男子の場合と同じく大野郡は、他の郡に比べて20才以下が多く33.5%をしめている。26才～30才までは急激に減少しているのをみると、女子は一般に早婚といえよう。

4 夫婦の時代別年齢差（第4図）

夫婦の年齢は同年令又は男子は女子より年上になっている。その差は全体に3才～5才が最も多く、ついで0才～2才である。しかし時代1において吉城郡では0才～2才の人が46%で最も多く、これと対照的に加茂郡では6才～8才が40%で最高を示している。時代3は吉城郡をのぞいては0才～2才よりも6才～8才がやや多くなっている。

5 通婚範囲（第5図）

交通不便な山国に加えて、江戸時代は他領の者との結婚は禁止されていた。また苗木藩の享保19年（1734）の触状によると今後は他所者（他領者）との縁組を禁止するとあるところからみても、全体的に他地方との交流は非常に少ない。従って同町村内の結婚が顕著に多く、最高は朝日村の82.8%、少ないところで古川町の39.3%であり半数以上の人と同町村内の結婚である。そのため村中が遠い姻



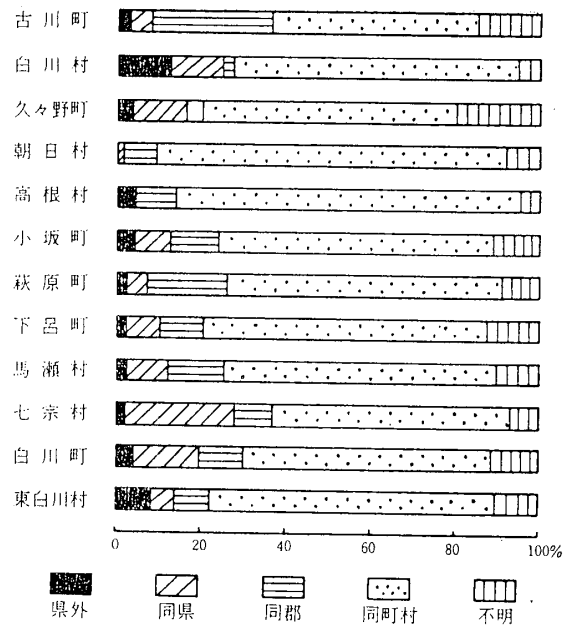
第4図 夫婦の時代別年齢差

戚関係になっているところもある。県外の者との結婚をみると白川村の12.8%が最も多く、ついで東白川村の8.8%で、その他はいずれも5%以下であった。これは交通の便の悪い山国の所以であろう。

6 結婚の場所 (第1表)

全地域を通じて自宅が最も多く、久久野町では97.5%の高率を示し、最も少ない所でも古川町の71.8%である。全体の平均は86.7%の高率を示している。しかし最近になり神社、会館を使用する人も漸次増してきたが古川町の会館16.9%、萩原町の神社7.5%、会館8.8%、東白川村の神社8.8%をのぞけば他は5%以下の微々たるものであり、これらも式のみにて披露宴は依然として自宅で行なう者が多い。自宅で行なう

場合、古い家では家柄を尊び、今なお古いしきたりで結婚式およびそれに関係のある行事が行なわれ、生活改善が叫ばれながらも改善されない一因が考えられる。



第5図 通婚範囲

項目	郡地域	吉城郡					大野郡				益田郡				加茂郡		
		古川町	白川村	久久野町	朝日村	高根村	小坂町	萩原町	下呂町	馬瀬村	七宗村	白川町	東白川村				
神社		2.82	4.16	1.25	1.56	4.76	2.82	7.50	3.49	1.47	2.38	2.13	8.82				
寺院		1.41											1.47				
会館		16.90	4.16	1.25	3.13	4.76	2.82	8.75	3.49		4.76	1.06	4.41				
自宅		71.83	77.08	97.50	93.75	80.95	91.54	77.50	90.70	94.12	90.47	93.62	82.35				
親類		4.22	6.28							4.41							
仲人			4.16				2.82	2.50				1.06					
不明		2.82	4.16		1.56	9.52		3.75	2.32		2.38	2.13	2.94				

第1表 結婚の場所

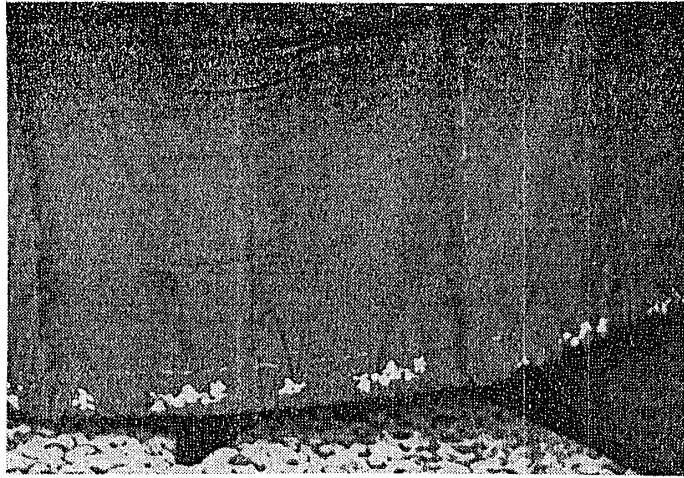
7 結婚衣裳

女子は第2表にしめすように、2の時代まではそのほとんどが留袖を使用していたが、最近になり振袖、打かけが急激に多くなった。東白川村のごときは80%の高率をしめしている。馬瀬村では2の時代において留袖が約79%であったが、1の時代には5%に急減し残りの95%が打かけ振袖になっている。しかしその反面もんぺ、日常着を着用するものが3の時代において東白川村、萩原町、高根村などは33~40%の高率を示している。

帯は全地域を通じて丸帯(写3)が最も多いが、名古屋帯や改良帯も地域、時代により20%以上をしめている。

女子においては洋装は非常に少なかった。古い時代には中流以上の家庭においては紋付の着物に打かけなど多く用いられたようである。

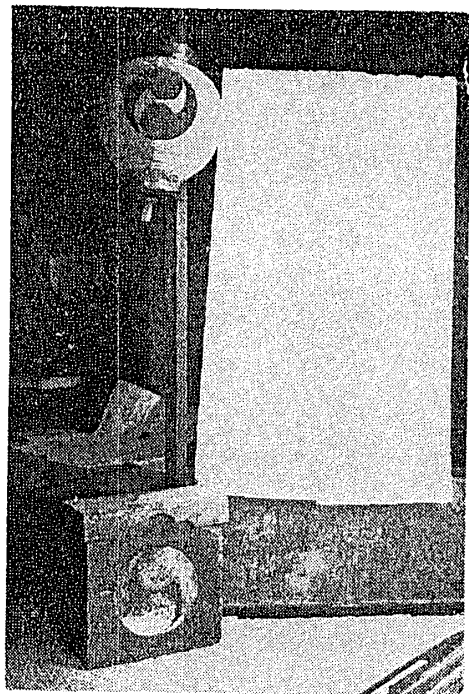
打かけは表裏とも黒無地にて表地は塩瀬ふき模様(写1)で、出衦にのみ金糸の模様の入れているものや、また表布黒縹子無地裏は白紋綾子、或はこれに金糸の刺しゅうの美しくさ



写1 明治初期の結婚衣裳



写2 明治初期の結婚衣裳



写3 提灯と丸帯

れたものもある。また80年位前に使用されたものに、裾をからげて歩くため裏にのみ裾模様のあるもの(写2)もあった。道中は黒色の裏裾模様の紋付の着物を着て近くの中宿で休み、そこで白無垢に着替えて婚家に入る。つぎに親子の盃のときは、赤い着物に着替えて黒朱子の帯をしめたものである。これは

白はどんな色にも染まるところからまた赤は赤ちゃんはどうにでも育てられるところからきている。

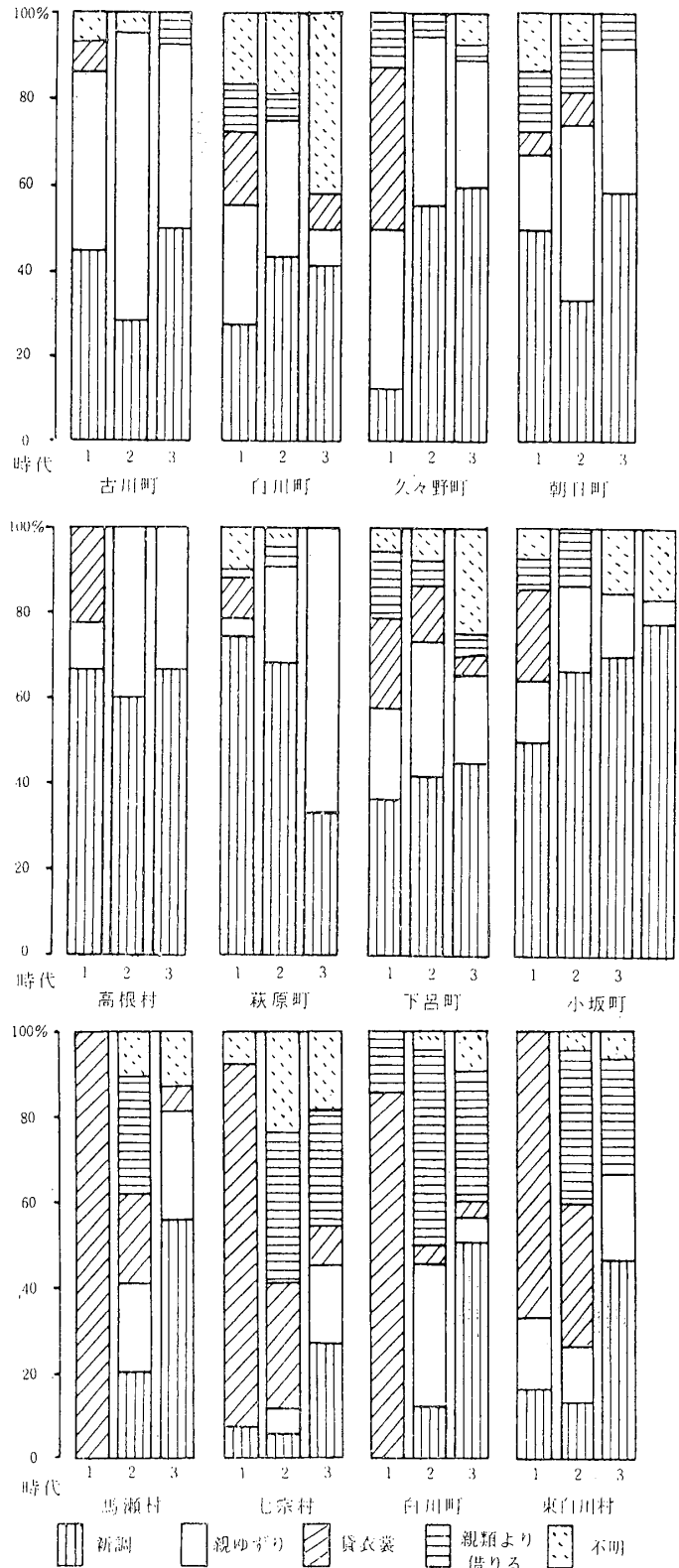
この頃のかぶりものは角かくしといっても帽子のようで天井がついており、青と白を用意し青は道中にかぶり、白は婚礼の式にかぶるものとされていた。また前記のように無地の色直しを着ないで、小袖をはじめから着る人もあって、この時は祝盃、親子盃の時に最も派手なものを着ることになっていた。

髪は自分の髪から次第に「かつら」へと移行し現在は85%以上が「かつら」使用となった。髪型は島田が全時代、地域を通じて最も多く、これらも終戦までは自分の髪が全体の74%になっている。そして3の時代即ち昭和30年以降においても10%前後は自分の髪で島田に結っている人がみられる。

一方男子の服装の場合式服の和洋の比は女子と同じく、3の時代までは圧倒的に和装が多かった。和装の中では各地域とも各時代を通して、日本古来の礼服である紋付に羽織袴が最も多い。1の時代に入りモーニング着用者もその数を増してきた。

8 式服調整

結婚式の式服調整状況については男子の場合(第6図-1)、貸衣裳はほとんど見うけられないが、昭和35年頃からややその数を増してきている。貸衣裳利用の最も多いのは久々野町の37.5%、つづい



第6図-1 男子式服調整状況

て七宗村の25%，高根村の22%，小坂町の21.4%であとは微々たるものである。

新調の場合をみると，現代になるほど数が減っているのは東白川村，白川町，下呂町，久久野町，白川村，小坂町などであり，いずれの地域，時代においても親ゆずりが相当の高率を示し，古川町は平均50.3%である。

女子の場合（第6図-2）をみると昭和30年以降，特に現代においては，貸衣裳が非常に多くなっている。馬瀬村では調査者全員が貸衣裳であり，80%以上のところには朝日村，古川町，下呂町，萩原町，小坂町，七宗村があり，最も少ない所でも高根村の55.6%で半数以上貸衣裳であった。しかし白川町は86%が親ゆずりであってその他は親類のを借りることになっているのは特異な存在である。

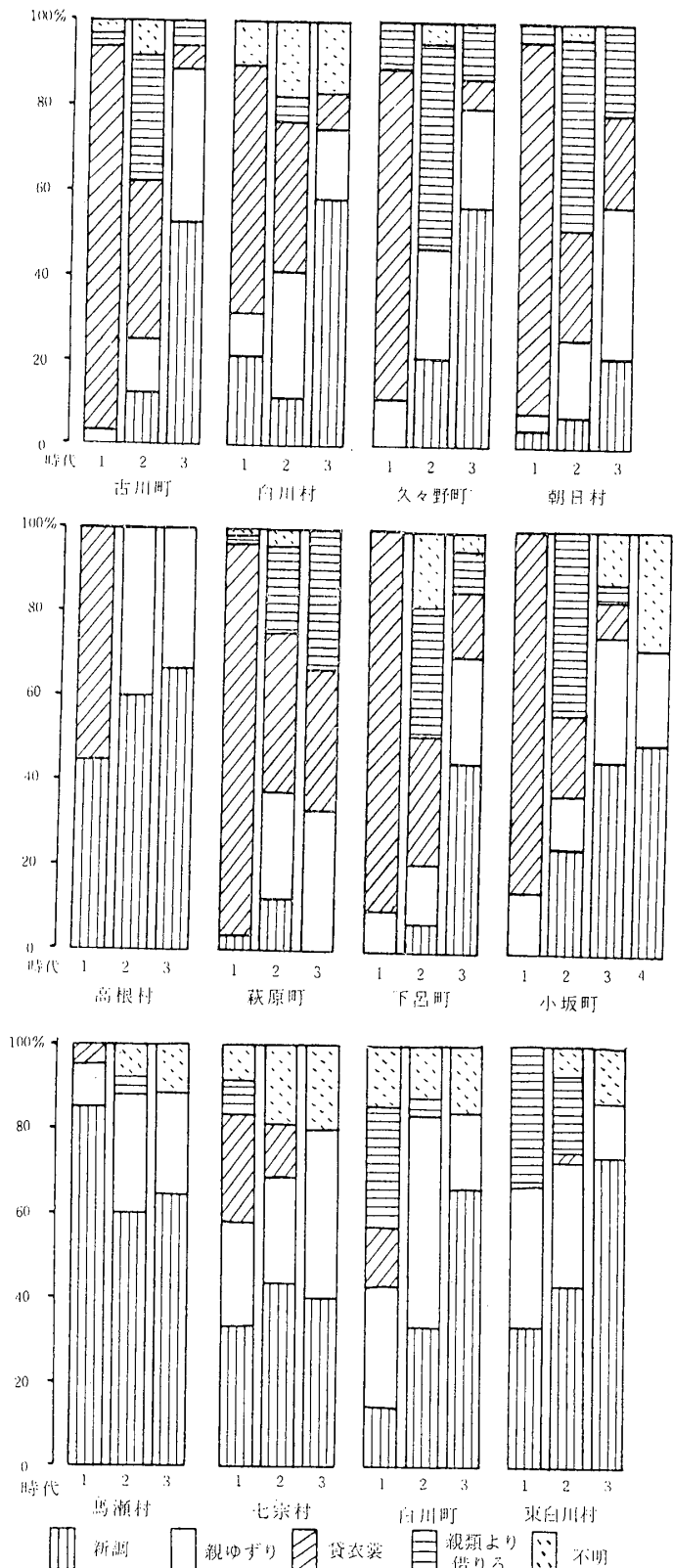
以上式服調整について男子は親ゆずりが女子に比べて多い傾向を示しているが，これは男子の紋付は柄もなく黒色であるため流行に左右されることがないが，女子の場合は，流行が甚だしいこともあり，また貸衣裳が急増し，ほとんどこれを利用しているためである。しかし貸衣裳の利用者はそのほとんど全部が振袖，打かけの衣裳であり，これとともに荷物などが派手になる傾向があるため，相当迷惑している家もある。

9 結婚に関すること

結婚式は派手なほうか，地味なほうか，との間に対する回答は，

「昔は地味なほうであった」が約

70%で非常に多い。「派手なほう」との答が多かったのは馬瀬村であったが，ききとり調査では，「地味なほう」という人が多かった。しかし現代は若い人は村外へ出る人が多く，派



第6図-2 女子式服調整状況

手になってきたとの意見が多く、他の町村でもこれと同じ傾向がみうけられる。

風習としては、披露宴を3日も4日も行ない夜を明かして酒を飲みかわすところが多かった。しかし現代は相当自粛されてきたが、今なお自宅の結婚式、披露宴では一晩位は飲みかわすところもある。

三三九度の盃をかわす時、豆（大豆）を2人にまく。（朝日村、久久野町）

実家へ再び帰ってこないようにと、出かける時鉄砲を打つ。荷物の披露がある。若い衆がわらの両端をたばねて中へ鯛を入れ、祝宴の席へ投げこむ。その家では酒でこれのお返しをする。これと同じ意味で青年がわらで三がいの松や、いずみなど縁起のよい作り物をしておくところがあちこちにあった。

嫁をみにくる人達には祝儀を出す。（白川町）

さる年に式を挙げることは、「去る」に通じるのでいみきらう。丙午の女をめとると主人が早死にする。（下呂町）など現在もなお地方によってはこれらを強く信じている人もあるという。

以上のように今もなお残る風習もいくつかあるが、この頃新生活運動の効を奏して、神社・会館での式も増しており、これを非常に喜び望んでいる一方、花嫁の貸衣裳の普及が無駄を省くのによい方法であるが、他方振り袖、打かけになるためこれに似合う荷物が必要とされ、その点派手になったと嘆く人が多い。

ま と め

1 結婚年齢は、一部やや早婚の地域もあるが、ほとんどの地域は男子26才～30才、女子21才～25才が最も多い。

2 通婚範囲は、同市町村内が非常に多かった。特に馬瀬村、高根村など交通の便の悪いところほどこの傾向が強い。

3 結婚式および披露宴の場所は昔はすべて自宅で行なったので、祝言に3日も4日も費していたが、近時神社・会館の利用も増してはいるが、依然として自宅利用が高率を占めている。

4 婚礼は昔から今に至るも山間僻地のため、一般庶民はかなり質素で簡単に行なわれ、日常着でふろしき一つというところもあるが、形式的にはあくまでも几帳面なところが多い。

結婚衣裳は男子は、昔ながらの紋付羽織袴がほとんど全部で、その多くは親ゆずりのものである。

女子は戦前は地味であったが最近ほとんど全部が貸衣裳の振袖、打かけを利用しそのため調度品なども派手になりつつある。

最後に本調査にご協力下さいました岐阜県教育委員会・各市町村教育委員会ならびに各地域の皆様方に深甚なる謝意を表する次第であります。

引 用 文 献

1 荻野千鶴子・広森多恵子他：昭38，名女学院短大紀要第9号，p. 45

地域 年代	古川町				白川村				久野町				朝日村				高根村				小坂町				萩原町				下呂町				馬瀬村				七宗村				白川町				東白川村						
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4											
う	30.00	12.50	11.76	73.68	11.76	33.32	33.33	10.00	31.82	13.04	3.70	7.14	50.00	20.00	50.00	7.14	31.37	52.94	37.50	33.33	20.00	4.54	50.00	20.00	3.57	33.33	61.54	5.88	14.29	5.77	10.00	2.22																			
ち	56.67	12.50					55.56	3.33	65.22	14.81	14.29	42.86	40.00	40.00	40.00	42.86	52.94	37.50	33.33	33.33	75.00	11.36	15.00	75.00	10.71	5.88	30.77	23.53	57.14	8.33	1.89	80.00	28.89																		
り	13.33	66.67	47.06	15.78	70.59	41.66	78.95	63.33	50.00	13.04	55.56	50.00	50.00	50.00	50.00	7.14	82.35	69.57	55.56	13.73	45.83	33.33	15.00	68.18	60.00	5.00	78.57	52.94	66.67	7.69	58.82	81.81	28.57	70.83	79.25																
そ							5.26	3.33	4.35	3.70	7.14	35.71				35.71	5.88	21.74	5.56	1.96	4.17	5.00	2.27		5.88																										
め							11.11	11.11	11.11	14.29	11.11	7.14				7.14	5.88	21.74	5.56	12.50	33.33	100.00	5.00	9.09	15.00	17.66																									
そ							10.53	10.00	13.63	4.35	11.11	21.43				7.14	4.35	16.67				15.00	4.55	10.00	7.14	17.66																									
の	90.00	95.83	52.94	68.42	76.47	66.66	77.78	73.68	70.00	86.36	78.26	74.07	71.43	100.00	60.00	83.33	57.14	94.12	78.26	83.33	86.27	70.83	66.67	100.00	70.00	76.74	78.95	100.00	70.00	89.29	70.59	66.67	84.62	76.47	63.63	100.00	79.17	83.02	90.00	80.00	60.00										
丸	6.67						11.11	15.79	26.66	4.55	13.04	22.22	20.00	20.00	20.00	14.29	5.88	4.35	11.11	3.92	3.92	20.83	15.00	5.26	15.00	3.57	15.38	5.88																							
袋	3.33						8.33	11.11	10.53	3.33	4.55	3.70	14.29				14.29	13.04	5.56	5.88	4.17	4.17	5.00	11.63	15.00	7.14	17.66	33.33	17.66	18.18																					
名																																																			
古	73.33	70.83	64.71	66.67	58.82	75.00	66.67	73.68	73.33	45.45	60.87	62.96	50.00	100.00	60.00	83.33	50.00	93.75	100.00	88.89	78.43	54.17	100.00	100.00	65.00	69.77	55.00	100.00	70.00	78.57	47.06	66.67	76.92	70.59	63.63	57.14	62.50	69.81	90.00	40.00	40.00	77.78	53.33								
島	3.33	4.17	11.76	29.41	8.33		10.53	16.67	8.70	11.11	28.57	7.41	20.00	20.00	20.00	6.25	7.14	6.25	1.96	16.67	4.17	5.00	6.96	15.00	3.57	29.41	7.69	5.88	18.18	14.29	8.33	18.87																			
洋							10.53	10.53	54.54		7.41	42.86				7.14	4.35	11.11	11.11	19.61	25.00	30.00	23.26	30.00	30.00	17.86	17.66	15.38	23.53	9.09	28.57	25.06	11.32	10.00	60.00	60.00	8.89	20.00													
そ	23.33	20.83	17.66	33.33	5.88	16.66	33.33	5.26	10.00		30.43	18.52	21.43	16.67			42.86		19.61	25.00																															
の																																																			
明	93.33	50.00	11.76	73.68	11.76	16.67	88.89	16.67	4.55	56.52	33.33	7.14	100.00	60.00	33.33	71.43	11.76		88.24	25.00	33.33	80.00	25.58	15.00	100.00	21.43	5.88	76.92	41.17	85.71	16.67	5.66																			
か																																																			
つ	41.67	76.47	15.78	58.82	66.66	11.11	72.22	76.67	72.73	13.04	48.15	78.57	20.00	50.00	100.00	7.14	76.47	82.61	72.22	7.84	66.67	66.67	10.00	53.49	75.00	100.00	50.00	82.36	100.00	7.69	29.41	81.81	14.29	62.50	71.70	90.00	20.00	42.22	100.00												
自	6.67	8.33	11.76	10.52	29.41	16.66	11.11	23.33	22.72	30.43	18.52	14.29	20.00	16.67			21.43	11.76	17.39	27.78	3.92	8.33	100.00	10.00	20.93	10.00	28.57	11.76	15.38	29.41	18.18																				
不	90.00	87.50	52.94	73.68	58.82	75.00	88.88	78.95	73.33	18.18	73.91	62.96	50.00	100.00	60.00	66.67	78.57	70.59	69.57	26.32	96.08	66.67	66.67	85.00	69.77	38.10	100.00	100.00	85.71	52.94	33.33	92.31	64.71	63.63	71.43	58.33	62.26	50.00	80.00	80.00	75.56	53.33									
角																																																			
か																																																			
つ																																																			
き																																																			
子	3.33																																																		
七																																																			
の																																																			
他																																																			
明	6.67	12.50	35.29	26.31	35.30	25.00	10.53	23.33	68.18	26.09	29.63	50.00	20.00	20.00	20.00	7.14	4.35	10.53	3.92	29.17	33.33	15.00	25.58	52.38																											

第2表 結 核 衣 袋